

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公表番号】特表2008-503588(P2008-503588A)

【公表日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-518209(P2007-518209)

【国際特許分類】

C 0 7 C 59/66 (2006.01)  
C 0 7 C 65/24 (2006.01)  
C 0 7 C 311/09 (2006.01)  
C 0 7 C 311/21 (2006.01)  
C 0 7 C 233/25 (2006.01)  
C 0 7 C 235/34 (2006.01)  
C 0 7 F 9/38 (2006.01)  
C 0 7 C 255/54 (2006.01)  
C 0 7 C 311/08 (2006.01)  
C 0 7 C 235/46 (2006.01)  
C 0 7 C 69/94 (2006.01)  
C 0 7 C 43/295 (2006.01)  
C 0 7 D 211/62 (2006.01)  
C 0 7 D 295/18 (2006.01)  
C 0 7 D 333/16 (2006.01)  
C 0 7 D 307/42 (2006.01)  
C 0 7 D 213/30 (2006.01)  
A 6 1 K 31/192 (2006.01)  
A 6 1 K 31/445 (2006.01)  
A 6 1 K 31/18 (2006.01)  
A 6 1 K 31/197 (2006.01)  
A 6 1 K 31/495 (2006.01)  
A 6 1 K 31/165 (2006.01)  
A 6 1 K 31/662 (2006.01)  
A 6 1 K 31/381 (2006.01)  
A 6 1 K 31/341 (2006.01)  
A 6 1 K 31/4409 (2006.01)  
A 6 1 K 31/40 (2006.01)  
A 6 1 K 31/235 (2006.01)  
A 6 1 K 31/09 (2006.01)  
A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
A 6 1 P 19/10 (2006.01)  
A 6 1 P 19/08 (2006.01)  
A 6 1 P 19/02 (2006.01)  
A 6 1 P 1/02 (2006.01)  
A 6 1 P 21/00 (2006.01)  
A 6 1 P 17/02 (2006.01)  
A 6 1 P 1/16 (2006.01)  
A 6 1 P 7/08 (2006.01)  
A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/14 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 7/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 15/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/24 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/20 (2006.01)  
 A 6 1 P 15/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 15/18 (2006.01)  
 A 6 1 P 15/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)  
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 21/04 (2006.01)

## 【 F I 】

C 0 7 C 59/66 C S P  
 C 0 7 C 65/24  
 C 0 7 C 311/09  
 C 0 7 C 311/21  
 C 0 7 C 233/25  
 C 0 7 C 235/34  
 C 0 7 F 9/38 B  
 C 0 7 C 255/54  
 C 0 7 C 311/08  
 C 0 7 C 235/46  
 C 0 7 C 69/94  
 C 0 7 C 43/295 D  
 C 0 7 D 211/62  
 C 0 7 D 295/18 A  
 C 0 7 D 333/16  
 C 0 7 D 307/42  
 C 0 7 D 213/30  
 C 0 7 D 295/18 Z  
 A 6 1 K 31/192  
 A 6 1 K 31/445  
 A 6 1 K 31/18  
 A 6 1 K 31/197

A 6 1 K	31/495	
A 6 1 K	31/165	
A 6 1 K	31/662	
A 6 1 K	31/381	
A 6 1 K	31/341	
A 6 1 K	31/4409	
A 6 1 K	31/40	
A 6 1 K	31/235	
A 6 1 K	31/09	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	7/08	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	1/14	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	17/10	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/08	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	13/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	15/10	
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	25/20	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	15/18	
A 6 1 P	15/02	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	21/04	

【提出日】平成20年4月21日(2008.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

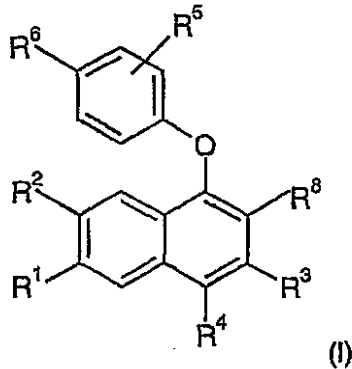
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の式(1)：

【化1】



[式中、 $R^1$ はH、OH、アルコキシ又はハロゲンであり；

$R^2$ はH、OH又はハロゲンであり；

$R^3$ はアルキル、ハロアルキル、シクロアルキル、アルコキシ又はアルコキシアルキルであり；

$R^4$ はH又はアルコキシであり；

$R^5$ はH、ハロゲン又はハロアルキルであり；

$R^6$ は $-(Y)z-R^7$ であり；

$z$ は0又は1であり；

$Y$ は $-C-C-$ 又は $-CR^e=CR^f-$ であり；

$z$ が0のとき、 $R^7$ はアルキル、アルコキシ、アリール、ヘテロアリール、ヘテロシクリル、シアノ、 $-\text{CO}_2R^a$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{CO}_2R^a$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{CO}_2R^a$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{CN}$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{OH}$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{OH}$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{OH}$ 、 $-\text{CONR}^aR^b$ 、 $-\text{NR}^a\text{SO}_2R^d$ 又は $-\text{NR}^a\text{C}(\text{O})R^c$ であり；

$z$ が1のとき、 $R^7$ は $-\text{CO}_2R^a$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{CO}_2R^a$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{OH}$ 、 $-\text{CONR}^aR^b$ 又は $-\text{PO}_3\text{HR}^a$ であり；

$t$ は1~8であり；

$R^8$ はアリール又はヘテロアリールであり；

$R^a$ はH、アルキル、ハロアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルであり；

$R^b$ はH、アルキル、ハロアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルであり；

$R^c$ はH、アルキル、ハロアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルであり；

$R^d$ はH、アルキル、ハロアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルであり；

あるいは $R^a$ 及び $R^b$ 、 $R^a$ 及び $R^c$ 、又は $R^a$ 及び $R^c$ は、それらが結合している原子と一緒になってヘテロアリール基又はヘテロシクリル基を形成してもよく；

ならびに、 $R^e$ 及び $R^f$ はそれぞれ独立にH、アルキル、ハロゲン及びハロアルキルから選択され、

ここで、アルキル、アルコキシ、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルの各々は場合により置換されていてもよい]

の化合物、その塩、溶媒和物及び薬理的に機能的な誘導体。

## 【請求項 2】

式中、 $z$ が0のとき、 $R^7$ はアルキル、アルコキシ、アリール、ヘテロアリール、ヘテロシクリル、シアノ、 $-\text{CO}_2\text{H}$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{CO}_2\text{H}$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{CO}_2\text{H}$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{CN}$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{OH}$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{O}$ 、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{O}(\text{CH}_2)_t\text{OH}$ 、 $-\text{CONR}^a\text{R}^b$ 、 $-\text{NR}^a\text{SO}_2\text{R}^d$ 又は $-\text{NR}^a\text{C}(\text{O})\text{R}^c$ であり；

$z$ が1のとき、 $R^7$ は $-\text{CO}_2\text{H}$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{CO}_2\text{H}$ 、 $-(\text{CH}_2)_t\text{OH}$ 、 $-\text{CONR}^a\text{R}^b$ 又は $-\text{PO}_3\text{HR}^a$ であり；

$R^a$ はアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルであり；

$R^b$ はアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルであり；

$R^c$ はアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルであり；

$R^d$ はアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール又はヘテロシクリルである、

請求項 1 に記載の化合物、その塩、溶媒和物及び薬理的に機能的な誘導体。

## 【請求項 3】

アルキルが $\text{C}_{1-9}$ アルキルであり、アルコキシが $\text{C}_{1-8}$ アルコキシであり、アルケニルが $\text{C}_{2-8}$ アルケニルであり、かつアルキニルが $\text{C}_{2-8}$ アルキニルである、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

## 【請求項 4】

$R^1$ がH又はOHである、請求項 1 ~ 3 のいずれか1項に記載の化合物。

## 【請求項 5】

$R^1$ がOHである、請求項 4 に記載の化合物。

## 【請求項 6】

$R^4$ がHである、請求項 1 ~ 5 のいずれか1項に記載の化合物。

## 【請求項 7】

$R^5$ がハロゲン又はハロアルキルである、請求項 1 ~ 6 のいずれか1項に記載の化合物。

## 【請求項 8】

$R^5$ がハロアルキルである、請求項 7 に記載の化合物。

## 【請求項 9】

$R^6$ が $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CO}_2\text{H}$ である、請求項 1 ~ 8 のいずれか1項に記載の化合物。

## 【請求項 10】

$z$ が0であり、かつ $R^7$ が $-\text{CO}_2\text{H}$ である、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

## 【請求項 11】

$R^8$ がフェニル、3-フルオロフェニル又は4-フルオロフェニルである、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の化合物。

## 【請求項 12】

1-({4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}カルボニル)-4-ピペリジンカルボン酸；

1-({4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}カルボニル)-4-ピペリジンカルボン酸；

4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]安息香酸；

(2E)-3-[4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-プロペン酸；

(2E)-3-{3-フルオロ-4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸；

1,1,1-トリフルオロ-N-{4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}メタンスルホンアミド；

(2E)-3-[4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]-3-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-プロペン酸；

N-{4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-4-メチルベンゼンスルホンアミド；

3-({4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}アミノ)-3-オキソプロパン酸；

(2E)-3-(4-{[6-ヒドロキシ-2-(4-ヒドロキシフェニル)-3-メチル-1-ナフタレニル]オキシ

シ}フェニル)-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(3-エチル-6-ヒドロキシ-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

7-エチル-5-({4-[(1E)-3-(4-メチル-1-ピペラジニル)-3-オキソ-1-プロペン-1-イル]フェニル}オキシ)-6-フェニル-2-ナフタレノール;

(2E)-3-(4-{[6-ヒドロキシ-3-(1-メチルエチル)-2-フェニル-1-ナフタレニル]オキシ}フェニル)-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(3-ブチル-6-ヒドロキシ-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(6-ヒドロキシ-2-フェニル-3-プロピル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-(4-{[6-ヒドロキシ-3-(2-メチルプロピル)-2-フェニル-1-ナフタレニル]オキシ}フェニル)-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(6-ヒドロキシ-3-ペンチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-(4-{[6-ヒドロキシ-2-フェニル-3-(3,3,3-トリフルオロプロピル)-1-ナフタレニル]オキシ}フェニル)-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(7-フルオロ-6-ヒドロキシ-2-フェニル-3-プロピル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-[4-({3-[(メチルオキシ)メチル]-2-フェニル-1-ナフタレニル}オキシ)フェニル]-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(3-シクロプロピル-6-ヒドロキシ-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(3-シクロプロピル-6-ヒドロキシ-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-(4-{[3-ブチル-2-(4-フルオロフェニル)-1-ナフタレニル]オキシ}フェニル)-2-プロペン酸;

(2E)-3-(4-{[3-ブチル-2-(4-ヒドロキシフェニル)-1-ナフタレニル]オキシ}フェニル)-2-プロペン酸;

(2E)-3-{4-[(7-フルオロ-6-ヒドロキシ-2-フェニル-3-プロピル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペンアミド;

(2E)-3-{4-[(3-ブチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

(2E)-3-(4-{[2-フェニル-3-(トリフルオロメチル)-1-ナフタレニル]オキシ}フェニル)-2-プロペン酸;

4-{[2-(4-ヒドロキシフェニル)-3-(トリフルオロメチル)-1-ナフタレニル]オキシ}安息香酸;

(2E)-3-{4-[(6-ヒドロキシ-3-オクチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}-2-プロペン酸;

{2-[4-(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-ナフタレン-1-イルオキシ)-フェニル]-ビニル}-ホスホン酸;

3-[4-(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-チオフエン-3-イル-ナフタレン-1-イルオキシ)-フェニル]-アクリル酸;

3-{4-[2-(4-フルオロ-フェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-ナフタレン-1-イルオキシ]-フェニル}-アクリル酸;

3-{4-[6-ヒドロキシ-3-メチル-2-(3-トリフルオロメチル-フェニル)-ナフタレン-1-イルオキシ]-フェニル}-アクリル酸;

3-[4-(2-フラン-2-イル-6-メトキシ-3-メチル-ナフタレン-1-イルオキシ)-フェニル]-アクリル酸;

3-[4-(6-メトキシ-3-メチル-2-ピリジン-4-イル-ナフタレン-1-イルオキシ)-フェニル]

- アクリル酸；

3-[4-(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-ナフタレン-1-イルオキシ)-フェニル]-2-メチル-アクリル酸；

2-[4-(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-ナフタレン-1-イルオキシ)-ベンジリデン]-3-メチル-酪酸；

3-{4-[2-(4-フルオロ-フェニル)-6-ヒドロキシ-3-プロピル-ナフタレン-1-イルオキシ]-2-トリフルオロメチル-フェニル}-2-メチル-アクリル酸；

3-{4-[2-(4-フルオロ-フェニル)-6-ヒドロキシ-3-プロピル-ナフタレン-1-イルオキシ]-2-トリフルオロメチル-フェニル}-2-メチル-アクリルアミド；

2-クロロ3-[4-(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-ナフタレン-1-イルオキシ)-フェニル]-アクリル酸；

{4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}オキシ酢酸；

4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]ベンゾニトリル；

(2E)-3-[4-[(3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-プロペン酸；

7-メチル-5-({4-[(1E)-3-オキソ-3-(1-ピペリジニル)-1-プロペン-1-イル]フェニル}オキシ)-6-フェニル-2-ナフタレノール；

(2E)-3-(4-{{6-ヒドロキシ-2-(3-ヒドロキシフェニル)-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}フェニル)-2-プロペン酸；

3-(4-{{6-ヒドロキシ-2-(3-ヒドロキシフェニル)-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}フェニル)プロパン酸；

3-(4-{{6-ヒドロキシ-2-(4-ヒドロキシフェニル)-3-メチル-4-(メチルオキシ)-1-ナフタレニル}オキシ}フェニル)プロパン酸；

(2E)-3-(4-{{7-ヒドロキシ-2-(4-ヒドロキシフェニル)-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}フェニル)-2-プロペン酸；

3-(4-{{7-ヒドロキシ-2-(4-ヒドロキシフェニル)-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}フェニル)プロパン酸；

N-{4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}メタンスルホンアミド；

N-{4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}エタンスルホンアミド；

2,2,2-トリフルオロ-N-{4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]フェニル}エタンスルホンアミド；

N-[4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]-2-(トリフルオロメチル)フェニル]メタンスルホンアミド；

N-{4-[(6-ヒドロキシ-3-メチル-2-フェニル-1-ナフタレニル)オキシ]-2-メチルフェニル}メタンスルホンアミド；

4-{{2-(4-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)安息香酸；

(2E)-3-[4-{{2-(3-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-プロペン酸；

4-{{2-(4-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}安息香酸；

(2E)-3-[4-{{2-(4-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-プロピル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-プロペン酸；

(2E)-3-[4-{{2-(4-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-プロピル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-プロペンアミド；

4-{{2-(4-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)ベンズアミド；

メチル4-{{2-(3-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)ベンゾエート;

4-[[4-{{3-メチル-6-(メチルオキシ)-2-フェニル-1-ナフタレニル}オキシ}フェニル]オキシ]ブタン酸;

2-{{2-[[4-{{3-メチル-6-(メチルオキシ)-2-フェニル-1-ナフタレニル}オキシ}フェニル]オキシ]エチル}オキシ)エタノール;

5-{{4-{{2-[[2-ヒドロキシエチル]オキシ]エチル}オキシ}フェニル}オキシ}-7-メチル-6-フェニル-2-ナフタレノール;

6-(3-フルオロフェニル)-5-{{4-{{2-[[2-ヒドロキシエチル]オキシ]エチル}オキシ)-3-(トリフルオロメチル)フェニル}オキシ}-7-メチル-2-ナフタレノール;

{{4-{{2-(3-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)フェニル}オキシ}酢酸;及び、

6-(3-フルオロフェニル)-5-{{4-[[2-ヒドロキシエチル]オキシ]-3-(トリフルオロメチル)フェニル}オキシ}-7-メチル-2-ナフタレノール

から選択される化合物、その塩、溶媒和物及び製薬上許容し得る誘導体。

【請求項 13】

(2E)-3-[[4-{{2-(3-フルオロフェニル)-6-ヒドロキシ-3-メチル-1-ナフタレニル}オキシ}-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-プロペン酸、その塩、溶媒和物又は製薬上許容し得る誘導体。

【請求項 14】

実施例のいずれか1つを参照し本明細書で実質的に規定された、請求項1～13のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 15】

請求項1～14のいずれか1項に記載の化合物と製薬上許容し得る担体とを含む医薬組成物。

【請求項 16】

活性治療物質として使用するための、請求項1～14のいずれかに記載の化合物。

【請求項 17】

選択的エストロゲン受容体モジュレーションが影響する症状又は障害の治療又は予防における使用のための、請求項1～14のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 18】

治療又は予防が、骨粗鬆症、骨の無機成分の消失、骨質量、骨密度又は骨成長の減少、変形性関節症、骨折の修復及び治癒の促進、関節置換術における治癒の促進、歯周疾患、歯の修復又は成長の促進、パジェット病、骨軟骨異形成症、筋肉消耗、筋肉の強度及び機能の維持及び強化、身体の弱体化又は加齢関連の機能低下(「ARFD」)、サルコペニア、慢性疲労症候群、慢性筋肉痛、急性疲労症候群、創傷治癒の促進、感覚機能の維持、慢性肝疾患、AIDS、無重量感、熱傷及び外傷の回復、血小板減少症、短腸症候群、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患、クローン病及び潰瘍性大腸炎、肥満症、悪液質又は加齢に関連する食欲不振を含む摂食障害、副腎皮質機能亢進症及びクッシング症候群、心臓血管疾患又は心機能異常、うっ血性心不全、高血圧、乳癌、胸、脳、皮膚、卵巣、膀胱、リンパ腺、肝臓、腎臓、子宮、膵臓、子宮内膜、肺、大腸及び前立腺を含む、アンドロゲン受容体を含む悪性腫瘍細胞、前立腺肥大、多毛症、アクネ、脂漏症、男性ホルモン性脱毛症、貧血、過多毛症、腺腫及び前立腺の腫瘍、高インスリン血症、インスリン抵抗性、糖尿病、X症候群、異脂肪血症、尿失禁、動脈硬化症、性欲強化、性機能障害、うつ病、抑うつ症状、神経質、短気、ストレス、精神的能力の低下及び低自尊心、認識機能の改善、多嚢胞性卵巣症候群、子癇前症の中和、月経前症候群、避妊、子宮筋腫疾患、及び/又は大動脈平滑筋細胞増殖、腔の乾燥、かゆみ、異常性感症、排尿障害、頻尿、尿路感染症、高コレステロール血症、高脂血症、末梢血管疾患、再狭窄、血管痙攣、免疫応答に起因する血管壁の損傷、アルツハイマー病、骨疾患、加齢、炎症、慢性関節リウマチ、呼吸器疾患、気腫、再灌流障害、ウイルス性肝炎、結核、乾癬、全身性エリテマトーデス、筋萎縮性側索硬化

症、発作、CNS創傷、痴呆、神経変性、乳房痛及び月経困難、更年期障害又は閉経後障害、血管運動症状、尿生殖器又は外陰腔萎縮、萎縮性膣炎、子宮内膜症、女性の性機能障害、性欲の増強用、性的欲求障害の治療用、性的刺激障害、オルガスムの頻度及び強度の増加用、膣瘻、骨減少症、BPH(良性前立腺肥大)、月経困難症、自己免疫疾患、橋本甲状腺炎、SLE(全身性エリテマトーデス)、重症筋無力症又は虚血心筋の再灌流損傷に関連する、請求項17に記載の化合物。

【請求項19】

選択的エストロゲン受容体モジュレーションに関連する症状又は障害の治療又は予防における使用のための医薬品の製造における、請求項1～14のいずれか1項に記載の化合物の使用。

【請求項20】

骨粗鬆症、骨の無機成分の消失、骨質量、骨密度又は骨成長の減少、変形性関節症、骨折の修復及び治癒の促進、関節置換術における治癒の促進、歯周疾患、歯の修復又は成長の促進、パジェット病、骨軟骨異形成症、筋肉消耗、筋肉の強度及び機能の維持及び強化、身体の弱体化又は加齢関連の機能低下(「ARFD」)、サルコペニア、慢性疲労症候群、慢性筋肉痛、急性疲労症候群、創傷治癒の促進、感覚機能の維持、慢性肝疾患、AIDS、無重量感、熱傷及び外傷の回復、血小板減少症、短腸症候群、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患、クローン病及び潰瘍性大腸炎、肥満症、悪液質又は加齢に関連する食欲不振を含む摂食障害、副腎皮質機能亢進症及びクッシング症候群、心臓血管疾患又は心機能異常、うつ血性心不全、高血圧、乳癌、胸、脳、皮膚、卵巣、膀胱、リンパ腺、肝臓、腎臓、子宮、膵臓、子宮内膜、肺、大腸及び前立腺を含む、アンドロゲン受容体を含む悪性腫瘍細胞、前立腺肥大、多毛症、アクネ、脂漏症、男性ホルモン性脱毛症、貧血、過多毛症、腺腫及び前立腺の腫瘍、高インスリン血症、インスリン抵抗性、糖尿病、X症候群、異脂肪血症、尿失禁、動脈硬化症、性欲強化、性機能障害、うつ病、抑うつ症状、神経質、短気、ストレス、精神的能力の低下及び低自尊心、認識機能の改善、多嚢胞性卵巣症候群、子癩前症の中和、月経前症候群、避妊、子宮筋腫疾患、及び/又は大動脈平滑筋細胞増殖、膣の乾燥、かゆみ、異常性感症、排尿障害、頻尿、尿路感染症、高コレステロール血症、高脂血症、末梢血管疾患、再狭窄、血管痙攣、免疫応答に起因する血管壁の損傷、アルツハイマー病、骨疾患、加齢、炎症、慢性関節リウマチ、呼吸器疾患、気腫、再灌流障害、ウイルス性肝炎、結核、乾癬、全身性エリテマトーデス、筋萎縮性側索硬化症、発作、CNS創傷、痴呆、神経変性、乳房痛及び月経困難、更年期障害又は閉経後障害、血管運動症状、尿生殖器又は外陰腔萎縮、萎縮性膣炎、子宮内膜症、女性の性機能障害、性欲の増強用、性的欲求障害の治療用、性的刺激障害、オルガスムの頻度及び強度の増加用、膣瘻、骨減少症、BPH(良性前立腺肥大)、月経困難症、自己免疫疾患、橋本甲状腺炎、SLE(全身性エリテマトーデス)、重症筋無力症又は虚血心筋の再灌流損傷、の治療又は予防における使用のための医薬品の製造における、請求項1～14のいずれか1項に記載の化合物の使用。